

福島県立医科大学附属病院研修症例等について

厚生労働省が定める到達目標に基づき、以下のとおり PG-EPOC への入力やレポートを提出する必要があります。

PG-EPOC に入力するもの

経験すべき症候、経験すべき疾病・病態、経験すべき診療法・検査・手技等、一般外来研修、その他活動（感染対策等の経験すべき項目）、研修評価等

1. 各種レポートについて

(1) 経験すべき症候：29 症候 病歴要約

経験すべき症候について、外来又は病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応を行う。

(2) 経験すべき疾病・病態：26 症例 病歴要約

外来又は病棟において、対象の疾病・病態を有する患者の診療にあたる。

- ※ (1)(2) は、PG-EPOC に症例を登録して指導医の承認を受けること。
- ※ 規定の様式を使用して作成すること（指導医に確認の上センターに提出）
- ※ 考察などを除き、入院の場合など必要事項が電子カルテにおいて自己で作成した退院サマリー（病歴要約）に記載していれば、それを「様式1」に添付して提出することも可。その場合、個人情報 は削除すること。
- ※ 経験すべき疾病・病態のうち、少なくとも1症例は、外科手術に至った症例を選択し、病歴要約には必ず手術要約（(3) 参照）を含めることが必要。

(3) 手術要約

(2) の経験すべき疾病・病態のうち、研修期間に手術に参加するか、術後管理を実際に行った症例など、外科手術に至った症例について、1症例以上は手術要約を提出すること。内容については、診断過程、検査結果の解釈、術後管理等の経過について記載すること。

- ※規定の様式を使用して作成すること。該当する症例の「様式1」を添付すること。（該当症例の「様式1」と併せて、指導医に確認の上センターに提出）

(4) CPC レポート

CPC 発表後、レポートを提出すること。病理担当医から指示のあった記載内容を網羅すること。

- ※ 規定の様式を使用して作成すること。（指導医に確認の上センターに提出）

※ CPCの流れについては、下記のとおり。

I 対象症例

- 1 1年目の研修中（内科系、外科系、小児科、麻酔・救急）に担当し、病理解剖の得られた症例とする。ただし、研修医が直接担当医になっていない場合でも、その研修科の病理解剖に立ち会うなど、症例に関わっている場合にはCPCレポートを作成することを認める。
- 2 1年目に担当CPC症例が無い場合には、前年度各診療科において実施した剖検症例を各研修医に振り分ける。ただし、症例に関する指導はその症例の臨床指導医が中心になって行う。

II 研修医全体の担当症例の把握

- 1 研修1年目に担当する剖検症例がある場合には、症例を担当した研修医、あるいは解剖に立ち会った研修医の情報を医療人育成・支援センターへ報告する（他の研修医の症例に立ち会った症例よりも、研修医自身が担当した症例を優先させる）。
- 2 医療人育成・支援センター担当者は、研修医のCPC担当症例の情報を掌握し、必要に応じてCPC研修調整会議を開催する。
- 3 研修2年目の初めにCPC担当症例のない研修医に対して、上記I-2に従って症例を割り当てる。

III 臨床研修2年目修了時に結果を卒後臨床研修委員会に報告する。

◆◆◆レポート等の作成における共通留意事項 ◆◆◆

- ① 大学、協力病院いずれの研修においても、必ず同一の様式で作成すること。
- ② CPCレポートについては、「指導医」、「指導責任者」の記名押印をすること。
- ③ 患者名、病院名等の個人情報に記載しないこと。（A、B病院等の記載）
- ④ 具体的な年月は記載せず、X年、X-2年等の記載とすること。
- ⑤ 同一患者で複数の病歴要約を作成することも可とする。その場合、1つの病歴要約でまとめても良い。

2. レポート様式について

研修医室共用PCのデスクトップ及び当院「卒後臨床研修」ホームページ上に様式があります。

* 当院ホームページ (<http://www.fmu.ac.jp/home/anzen/sotugo/>)
→「卒後臨床研修」→「セミナー様式・レポート様式等」

3. 提出期限及び提出先について

(1) 提出期限

必須症例を経験した診療科での研修終了後、原則2週間以内には病歴要約を作成し、計画的に提出をすること。

経験すべき症候等55症例のうち、できるだけ30症例は1年次の3月末までに提出すること。最終提出期限は、2年次の2月15日とする。

※半年に1回、プログラム責任者とのフィードバック（面談）を行い、提出状況を確認します。

(2) 提出先

作成した病歴要約等はプリントアウトし、各自で指導医に承認を依頼、承認後に臨床医学教育研修センターに提出すること。指導医に何度か添削された際は、最終的な完成版と併せて添削経過が分かる写しも提出すること。